



新築やリフォームの経験がある方なら「ヒカビカの我が家」を初めて見た時の感動をご記憶だろう。特に外壁は、塗装工事の直後はとても美しく見えたものだ。だが、これもご存じの通り、問題はその後。風、雨、雪、そして直射日光に晒され続ける中で、「いかに耐えられるか」が最重要課題となる。

素人目にはキレイに見えても、質の違いで将来的な美観の維持のみならず快適性、環境性能にまで大きな差が出る塗装工事。IT時代に入り、どの業者のサイトも美しい施工例を掲げているが、「それではない」と真逆の情報開示を行う企業がある。神奈川県全域と都内の一部をテリトリーとする塗装防水の専門工事業者、ジャパンテック神奈川だ。

同社のホームページにアクセスすると、同時に数軒進行中の塗装工事の現場写真がスラリと並び。ここまでほかでも見かけるが、同社は何とほぼ毎日更新。つまり、担当する案件の「毎日の仕事ぶり」をネットで公開してしまっているのだ！更新は当日の夜か翌朝なので、まさにリアルタイムで「きちんと仕事をしているか」をチェックできることになる。

全国でも珍しい塗装工事業者の完全公開＆画像

ホンモノの職人には、隠すことなど何もないのだ。



付き「業務日誌」は、顧客アンケートでは90%以上が高評価を下しているという。また、「工事完了日から本当のお付き合いの始まり」「向こう10年は顧客宅と向き合う」と公言する同社は、アフターケアも徹底しているが、「ここでも6年前の自分の仕事」を補修する写真を堂々とアップしている。

顧客に安心を提供するための「情報公開」だが、「自分の仕事」に絶対的な自信を持たなければ、ここまでやるのは厳しい。それもそのはず、同社は施工管理技師、塗装技能士、有機溶剤作業主任者、足場作業主任者、サイディング塗替え診断士、スラリー瓦施工技術者らの専門職人集団。見積段階から「数年後に自分自身が点検すること」を考えた工事仕様を検討するため、逃げも誤魔化しもなく顧客と対峙できる。画像は工事後も保存されるため、メンテナンスや次回塗り替え時にも役立つ。こうした職人気質が、そのまま仕事の質を物語っている。

人気の断熱セパミック「ガイナ」の施工認定店であり、話題の瑕疵保険の登録事業者。こうしたプロフィールも重要だが、それ以上に「隠す必要がない」ことが、同社に集まる信頼の根源なのだろう。